

**日本共産党区議会議員**



**こんにちは  
伊藤和彦です**

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)  
 日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 区民の願い 実現

切実な声とりあげ粘りつよく追及  
 条例案・予算修正案も提出して

日本共産党

〔新年度予算および予算議会(2・3月)のなかで明らかになった主なものを紹介します〕

## アスベスト被害対策要綱の制定

23区で足立区だけがなかった要綱ついに制定。日本共産党が足掛け三年追及。条例案も提出して実現。

## ヒブワクチン助成

幼児の死亡率の高いヒブ(b型インフルエンザ菌)の予防接種に1回につき3500円を上限に助成。予算修正案を提出して実現。

## 雇用とくらし総合相談窓口の常設

区役所3階に六月頃から設置。共産党が代表質問、一般質問などてくりかえし提案。「ワンストップサービス」の常設で、画期的。

## 利子ゼロの緊急融資の新年度継続

3月で終了の緊急融資を新年度も実施(6月から来年3月まで)へ。

## あだちワークセンターの存続

民主党事業仕分けで廃止の危機に。共産党が12月から区議会できりあげ厚生労働省にまで出かけ存続へ



予算委員会で質問をする伊藤和彦区議

## 小規模事業者の道路占用料

(看板)免除

都道では占用料は小規模事業者は免除です。「区道も免除して負担軽減を」と共産党は条例も出して提案。自民・公明・民主が否決しても提案しつづけてついに実現。

## 子ども参加のセンターづくり

青少年センターは子ども自身の意見を聞き、子ども参加でつくるべきと提案。先進区の杉並にも調査に行き提案してきました。

## 少人数学級への一歩ついに

都が固い扉を開けて少人数学級を容認。しかし区は足を踏み出そうとしない。「こんな公約違反はない」と指摘し予算修正案を提案。ついに実施へ。

## 特養ホーム・老人保健施設増設

特養ホームなど高齢者介護施設の要望は切実です。共産党はほぼ毎議会追及し、当面23年4月、西新井に150床の特養開設など実現。

## 公有財産・公共施設の区

## 民利用方針

「売却優先」から区民利用可能な活用方針へ転換。パブ・コメも行なわれました。

注目すべき前進  
 障がい者グループホーム・ケアホームの増設  
 予算修正案で、区の補助制度創設を提案。区は補助の必要性を認め増額について言及。  
 小規模事業者の仕事確保  
 小規模工事希望者登録制度の改善で小規模事業者の仕事確保。地域経済の活性化につなげると答弁。  
 正規雇用の拡大  
 短期雇用が中心の雇用対策だが、正規雇用につながる事業を計画すると答弁。  
 温暖化対策  
 地球の存亡がかかった温暖化防止。区もカナメとなるCO2削減目標を引き上げる意向を表明。  
 孤独死対策  
 孤独死ゼロをめざす。定義も決めると画期的答弁。

## 生活相談・法律相談

お気軽にお電話をください  
 相談は無料です  
 法律相談は弁護士を紹介します  
 日本共産党足立区議団  
 3880-5770  
 伊藤和彦 自宅  
 3859-6952  
 携帯電話  
 070-6642-2851

# 高齢者入浴券 無料じゃなくなっちゃう？

**地域の方から質問が寄せられました???**  
 高齢者入浴券は70才以上の方に、無料入浴券が5枚配られている制度です。  
 さらにいままでは、毎月第2・第4水曜日を含む週を1回100円で入浴できる「ゆーゆー湯入浴証」24枚配布していました。  
 来年度からは、無料入浴券がなくなります。そのかわりに「ゆーゆー湯入浴証」が12枚ふえて36枚になり、毎月第2・第3・第4水曜日を含む週を「ゆーゆー湯入浴デー」として、各週のうち1日ずつ、1回100円で入浴できるようにするということです。  
 日本共産党区議団は、予算修正案で、せめて毎週1回は入浴できるように、年50回に増やすべきと提案しました。



伊藤和彦議員「次にものづくり支援について聞く。  
 足立区の産業の歴史は、レンガ造りをはじめ、皮革、家具、

予算委員会で行った  
 伊藤和彦区議の質疑の  
 要旨をお知らせします

# ものづくりへの支援の 強化をはかるべき

金属製品づくりとものづくりが盛んな時代もあった。日本経済の土台を支えているのがものづくりする中小企業・業者。町工場の技術力こそが、わが国が世界に誇る「ものづくりの力」の源泉。台東区では創業支援施設として「ものづくり工房」をオープンしたので

調査してきた。台東区では支援体制をとり「靴」を中心として、それぞれが工房をもち独立するまで支援をするというもの足立区から来ている若者、靴のデザイナーでは専門家や海外からも注目されているという。専門誌でも紹介された。

創業支援は足立区にも「はばたき」など施設がある。台東区のようなものづくり支援の体制を足立区でもできないか。

答弁「私も見学したが大変よい施設だと感じた。足立区では全業種を対象として、創業支援のものづくりと支援しているが、台東区のような準工業地域でないので「靴」に特化したものづくり支援はむずかしい。

質問「IT・パソコン関係は「都心に行く」ことが多いと聞くが、台東区のインキュベーションマネージャーは靴づくり40年の指導者。地場産業を大切に、若い人を育てるものづくりは大切。千住ではできないというなら、他地域でもものづくり支援施設ができないか。

答弁「創業支援施設は、多様な業種が利用しており、各企業の特徴を活かし施設内での連携も図っている。単なる貸事務所ではなく、創業の場として区内で優秀

# 竹ノ塚駅東口朝宣伝 2000回突破!



毎週、竹ノ塚駅東口で区政報告を続けている伊藤和彦区議は3月15日(月)の朝宣伝で通算2000回を突破しました。議員になって22年目。写真は朝の宣伝活動を後援会員とともに伊藤和彦区議。

な創業者を育てていくという視点で引き続き努力していきたい。ものづくり支援施設については、他地域でチャンスがあれば検討はしてみたい。

質問「火災警報器設置について聞く。「生命を守る」災害対策の一環として、家具転倒器具取り付け事業。区は、過年度の実績は4件だったが改善されたようだがどうか。

答弁「4件から300件に拡充した。金額が限度額2万から3万円の助成にした。高齢者のみから高齢者を含むと対象拡大した。65歳を60歳にした、

区およびかに業者が協力してくれた。

質問「家具転倒防止器具取り付け事業を区は、努力してきたと思う。家具転倒防止器具は、一社の入札か、独占か。足立区内どこでもできるのか、

答弁「区の登録業者に一欄をつくりお願いしている。

